



もとみや

議会だより

第5号

平成19年10月発行



交通安全・防犯鼓笛パレード

(白岩小学校)

9月定例会

阿武隈川本築堤対策特別委員会を設置

～本築堤の早期実現に向け要望活動を展開～

条例改正・補正予算を審議

37議案を可決

2 P～

ここが聞きたい

18議員が一般質問

6 P～

18年度 決算を認定

3 P～

声 議会傍聴に行ってきました

16 P

9月

定例会

9/5～9/21

9会計の18年度決算を認定

主な議案

議案審議

本宮北工業団地を分譲

9月定例会（第5回本宮市議会定例会）は、市長から新市の平成18年度各種会計決算認定9件をはじめ、条例改正や各種会計の補正予算など34議案が、提出されました。

また、最終日には市長から追加議案3件と、議員発議2件が提出され、全てを原案どおり可決しました。

平成19年度一般会計

補正予算（第3号）

平成19年度一般会計は、1億1千660万8千円を追加し、総額を101億3千450万7千円としました。

これは、平成18年度決算の確定に伴う繰越金を8千5百万7千円増額補正と、固定資産税が当初見込以上に伸びたため、1億7千89万円増額補正するなどし、財政調整基金からの繰り入れを予定していた3億円については、取り崩す必要がなくなったため、補正減しました。

歳出の主なものは次のとおりです。

補正の主なもの

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ○道路維持補修事業に
.....697万円 | ○本宮小学校施設整備事業に
.....1,489万円 |
| ○市道原・高木線改良事業に
.....1,000万円 | ○サンライズもとみや屋根修繕に
.....421万円 |
| ○市道堀切・赤坂線用地取得に
.....1,250万円 | ○財政調整基金積み増しに
.....5,000万円 |



改良に着手する市道原・高木線

財産の処分について

本宮北工業団地下台工区B
区画Aの用地をアルス電子株
式会社（本社：本宮字名郷）
へ分譲します。面積約2千8
百㎡を4千3百40万円で売り
渡します。

市が進めている市道堀切・
赤坂線改良事業（通称名郷橋
架け替え工事）に伴い、同社
の社員駐車場の一部が事業用

地となることから、その代替
用地として分譲するものです。

**白沢有機センター指定
管理者の指定について**

白沢有機センター管理者の
指定申請を検討した結果、み
ちのく安達農業協同組合を平
成24年6月末までの5カ年
間、指定管理者として指定す
るものです。

**平成18年度本宮市各種
会計決算認定について**

合併後3ヶ月間の本宮市の
各種会計の決算であり、年間
を通しての決算ではないため、
前年度との比較ができません。
そのため、予算が適正に効
率的に執行されているか、計
数は正確であるか等について
審査し、いずれの会計も原案
のとおり認定されました。

人事

○人権擁護委員の推薦

法務大臣委嘱の人権擁護委
員として推薦することに同意
しました

清水マサ子氏

（本宮字万世）

○自治功労表彰

次の10名について、市表彰
条例に基づく自治功労表彰に
同意しました。

岡部 善宜氏
（糠沢字久保内）

渡邊 重夫氏

（高木字舟場）

渡邊 忠夫氏

（和田字諏訪）

荻野 哲雄氏

（長屋字滝原）

遠藤富士雄氏

（仁井田字五百川）

小林 榮治氏

（青田字池前）

渥美 誠二氏

（仁井田字村山）

國分 一英氏

（荒井字荒井）

石塚 勝臣氏

（稲沢字西石塚）

佐々木廣文氏

（糠沢字東笹田）

○特別功労表彰

本年の名古屋国際女子マラ
ソン大会に優勝し、世界陸上
大阪大会にも日本代表選手と
して出場され、本市のスポー
ツ興隆に多大な貢献をされま
した。

橋本 康子氏

（千葉市緑区）

認定された本宮市平成18年度各種会計決算（単位：円）

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		4,031,241,669	3,708,592,079
国民健康保険	（事業勘定）	1,164,474,350	903,924,235
特 別 会 計	（直営診療施設勘定）	35,452,861	32,590,887
老人保健特別会計		940,855,055	871,305,714
介 護 保 険	（保険事業勘定）	489,997,966	448,154,629
特 別 会 計	（介護サービス事業勘定）	1,290,557	1,067,188
公共下水道事業特別会計		440,293,678	419,954,311
農業集落排水事業特別会計		29,454,992	26,003,902
工業用地造成事業特別会計		171,774,553	169,585,286
住宅団地造成事業特別会計		6,731,094	5,268,941
水道事業会計（収益的収支）		198,418,291	569,301,364
水道事業会計（資本的収支）		120,962,000	695,487,288



分譲が進む本宮北工業団地

総務文教常任委員会

常任委員会 審査

総務文教常任委員会には、本宮市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例制定のほか3件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

職員の超過勤務手当が補正されているが、今後の見直しは

回答

合併後、相当の業務量が増加している状況。今後、組織の見直しを図るとともに職員の適正化を図り、縮減したい。

意見

行政サービスの低下、超過勤務の増加にならないような職員の適正化とすべき。

質疑

就学奨励費や援助費が増加している要因は。

回答

社会情勢により、経済的に

厳しい家庭が増加傾向にあることが主な要因。

質疑

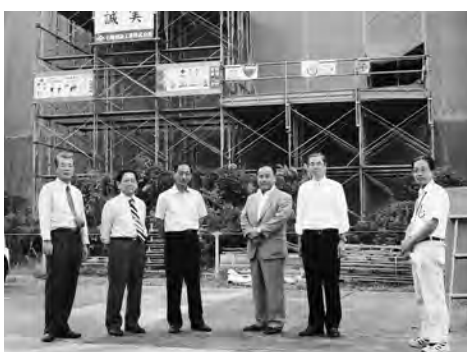
学校給食費の滞納状況は。また、収納対策は。

回答

滞納納入は若干あるが、年度内には完納している。遅延している家庭には、家庭訪問、面談等を行い対応している。

意見

給食費の滞納が原因で、不登校にならないよう、行政としての対策を講じること。



現地調査（本宮小学校改修工事）

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、19年度一般会計補正予算のほか3件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

国保特別会計補正予算

質疑

白岩診療所は高齢者の利用が多い中、院内処方にも取り組んでいるが、調剤時には何らかの工夫が施されているか。

回答

服薬する薬剤の名称や効用が理解できるよう明細を添付している。また、1回分の薬をまとめて分包する等、高齢者に配慮した処置を講じている。

質疑

国保ヘルスアップ事業の内容と結果の評価は。

回答

今年度の総合検診結果に基づき、メタボリックシンドロームに関する保健指導の必要

度が高い方々に対して、運動・食事療法等の生活習慣改善メニューを数ヶ月間実践していただき、個別の改善結果を踏まえた指導助言を長期的に継続していく。

所管事項調査

9月19日に所管事項の現地調査を実施しました。（白岩診療所、白沢保健センター、高齢者ふれあいプラザ、消防団本宮地区隊第3分団）



現地調査（白岩診療所）

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、白沢有機センター指定管理者の指定のほか2件の議案と1件の請願が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

白沢有機センター 指定管理者の指定

質疑

肥料の需要見込みは。

回答

減反奨励報償の商品券交付の代替として肥料を交付するが、米価の下落に伴い著しい増加は見込めない。

質疑

施設の修繕方法は。

回答

低額修繕は指定管理者、高額なものに関してはその都度協議する。

質疑

市の財政負担は。

回答

指定前の管理費相当を指定管理料とする。今後、売り上げの状況等により減額調整する。



現地調査（白沢有機センター）

一般会計補正予算

質疑

グリーンツーリズムの推進の考えは。

回答

グリーンツーリズムの目的は都市住民の滞在であり、今後、事業の内容を検討する。

質疑

岩根農構センター補正予算の用途は。

回答

放課後児童クラブ利用に伴う危険防止のためガラス飛散防止費用。

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、19年度一般会計補正予算ほか5件の議案が付託されました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

中心市街地以外の地域における歩道整備の考えは。

回答

各地域の実情を把握し、地域格差が生じないように、計画的に歩道整備を図っていきたいと考える。

質疑

近年の気候変動による短時間集中豪雨に対して、内水処理対策等を行っているのか。

回答

水路の水が一箇所に集中しないように事前に調整し、内水被害の未然防止に努めている。

公共下水道事業 特別会計補正予算

質疑

水洗化の状況は。

回答

平成18年度末で、水洗化戸数3,830戸、水洗化率78・6%の状況である。今後も積極的に普及促進に努めていきたい。

所管事項調査

去る9月19日、所管事項（名郷橋、菅田橋、白沢地区請願路線、白沢地区浄水場）の現地調査を行いました。



現地調査（東禅寺浄水場）

市政を問う

18議員が登壇

一般質問

特別委員会

阿武隈川本築堤対策特別委員会の設置

本年3月に国が策定しました。

阿武隈川水系河川整備計画

に、本築堤事業として、弁

天地区から鳴瀬地区左岸と

高木地区右岸の広範囲で堤

防の量的整備、弁天地区の

河道掘削、白沢上流八幡地

区及び白沢下流大沢地区の

治水対策などが盛り込まれ

ました。

市民の生命と財産を守る

ためには阿武隈川本築堤事

業が不可欠であり、早期実

現と完成を図るため特別委

員会を設置し、調査を行

います。

委員					副委員長	委員長
矢島義謙	増子善勝	遠藤孝夫	鶴巻秀一	川名藤太	渡辺由紀雄	作田博

要望活動

10月9日に国土交通省東北地方整備局長、福島河川国道事務所長をはじめ、担当部局に要望書の提出を行いました。

また、10月10日には、本県選出の衆議院議員や国土交通省、財務省、総務省及び関係者に対し要望活動を行い、国土交通省においては、谷口技監、峰久事務次官に面会し、本築堤の早期実現を要望しました。



要望活動を展開(国土交通省本省)



積極的な誘致活動を（本宮工業等団地）



Q 財政再建は優良企業誘致だ

A 積極的な誘致活動を展開したい

作田 博
議員

【財政再建は優良企業誘致だ】

財政再建は優良企業を積極的に誘致し、税の増収を図り、自主財源を確保することによって財政の健全化の道筋をつけることが必須だ。

県は本年度より戦略的

企業誘致補助金を5億円から35億円に増額し、県の三本柱のひとつとして企業誘致を行っている。

これらを踏まえ、市長の施政方針を伺う。

【積極的な誘致活動を展開したい】

地方財政が厳しい状況にあり、地方財政健全化法が施行される状況の中で、自主財源を確保していくことが重要となる。

旧本宮町の時代から工業等団地の開発を進め、予約地を含め97%の分譲率となったが、借財が大きく残っていることも事実である。

現在も企業各社と情報交換しており、優良企業を誘致することが雇用の増大、市税の増収につながるため、今後も積極的に活動をしていきたい。



Q 財政状況の情報公開は適正か

A 現在の契約状況での公表

渡辺由紀雄
議員

【財政状況の情報公開は適正か】

市政懇談会で借入金の残高が公表されたが、工業用地特別会計分の利子が異常に低額である。四十〜五十年で返済する予定と説明されていたが、一桁違うのではないか。正確に情報を公開すべき。

【現在の契約状況での公表】

県土地開発公社との契約期間である平成22年度までの利子を計上した。市の基本姿勢は低い金利での長期間償還であるが、今後の償還については、県・県土地開発公社と交渉している状況であるため、現段階の契約状況での算定となった。

【合併後の市民の感情をどのようにとらえるか】

市政懇談会の出席者は、中心部から離れた地域ほど多かった。合併後の不安、地域格差が生じる事への危機感の表れと、思いますが、今後どのようにして解消し、一体性をつくりだしていくのか。

【緊急性や安全に関わるものを優先的に】

市政懇談会での質問・要望の内容については、既に現地確認をしたものもあり、優先順位を付けながらできる限り早い対応をしたい。今後は地域づくり懇談会等での意見交換が大事であると考え、問題を共通認識しながら不安解消を図っていきたい。



市政発展の舵取りは



多くの意見や要望が出されました (市政懇談会)

【市政懇談会の開催内容は】

① 市民の集まりの集計は、市民の皆様が強く望まれたことは、

② 今後、市民の要望を市政にどのようになかしていくか。

【多くの意見・要望が出された】

【答】

① 本宮地区（7カ所）で延べ121人、白沢地区（6カ所）で延べ186人が参加した。

② 合併計画に記載の構想事業等に加え、身近な内容の要望も出された。

③ 身近な問題についても議員や地域の皆さんの意見を聞きながら安全・安心を基本に対応していく。

【答】

① 国の農業政策転換に伴

い、各農事組合単位に新たな制度の各種説明会を開催し、市内に集落営農組織が設立されたが、今後も組織化を図る。

② 農家、非農家で組織する団体の地域ぐるみでの活動に対する支援制度であり、市内に20の活動団体が組織されている。



Q 市政懇談会の開催内容は

A 多くの意見・要望が出された

渡辺善元 議員

【県にも責任ある認識で交渉を】

【問】 国の新財政健全化法による指標で「財政再生団体」となると国に監視される。

本宮市はまだ工業団地元金返済に取り組んでいないが、これを含めるとどうなるか。

工業団地負債返済方法は県の責務を踏まえて折衝すべきだ。

【市民サービス低下を招かないよう最大限努力】

【答】 財政健全化法の指標の数値が国から示されていないが、一般会計からの繰出金により変動し、標準財政規模が変わらないまま繰出金を償還に回すと、当然高い率で推移することになる。

工業団地は県との協議の中で開発を進めてきたという実感を持っている。

【高齢者を苦しめるだけの医療制度では】

【問】 75歳以上のお年寄りは新たな保険制度に移り、全てのお年寄りが保険料徴収と医療費一割以上の負担になる。

18万円以上の年金生活者は天引きになり、医療費が増えれば保険料が高くなるシステムでは、高齢者を苦しめるだけの制度ではないか。

【広域連合と十分な連携を図る】

【答】 県単位に広域連合を設けて運営する新たな制度となるが、保険料徴収のあり方、負担のあり方について、広域連合事務局に申し入れていきたい。

また、市の要望や市独自の対応策は他市の動向をにらみながら判断していきたい。



Q 県にも責任ある認識で交渉を

A 市民サービス低下を招かないよう最大限努力

島田和夫 議員



工業団地債務の償還計画は



【教育行政を問う】

本宮市の将来を担う子供たちのための教育行政を教育長はどのように考えているか。

今、社会問題となつていっているいじめや不登校の本市の現状は。学校カウンセラーを市で配置する考えは。

【教育環境整備を図る】
答 関係部課等と連携し、

Q

教育行政を問う

A 教育環境整備を図る

各時期、年代に応じた教育環境の整備を図りたい。市内の小・中学校の不登校の児童・生徒は16名で解消に向け努力している。いじめの発生はない。学校カウンセラーは現在3つの中学校に県から配置されている。今後、他市の状況を参考に検討したい。

【農業振興はいかに】
答 「福舞里プラン」のソフト事業は本年度で終

【農業振興はいかに】
白沢地区の農業振興策である「福舞里プラン」の進捗状況は。地域活性化のための地場産品の開発育成をどのように考えているか。認定農業者の育成をどのように考えているか。【各種事業に取り組む】

一喜 渡辺 議員

了し、ハード事業は21年度の事業採択を目指し検討している。市民が市の特産品を認識しているか懸念される。まずは地産地消に取り組みたい。認定農業者には市の補助金や生産調整の緩和措置がある。要件を満たす農業者へ働きかけていく。



遊休農地の解消へ



整備はいつに



Q

本宮小学校周辺道路の整備は

A 校舎外構工事と併せて一部を整備

司 裕 瓶 三 議員

【本宮小学校周辺道路の整備は】

本宮小学校が40年ぶりに改築工事を行うが、学校周辺の通学路は未だに歩道もなく、狭い道路のままで児童の登下校に支障を来している。

児童の安全確保のためにも、改築工事に伴い周辺道路を整備する考えは。

【校舎外構工事と併せて一部を整備】

小学校北側、第3校庭から関根へ至る市道については、今回の補正予算で2カ所の待避所を設置し、将来の百目川改修にあわせて周辺通学路を

考えていく。校舎から第3校庭への横断経路や校舎北東側のすみ切り等に

については、校舎の外構工事と併せて実施したい。

日本宮町は何度も水害を経験し、今後は各地で発生している地震などの災害も予測される。

本宮小学校も避難場所に指定されているが、道路が狭い現状で、災害時の自衛隊や物資を運ぶトラック等の交通経路の確

保は。

本宮小学校は災害時の避難場所に指定されている。

今回の改築に伴い県道須賀川・二本松線側にスロープを設置し、避難する方々の移動や車の出入り、物資の運搬等がスムーズになるように計画している。



Q 上高木地区の区画整理は

A 現状は一時凍結

川名藤太
議員

【上高木地区の区画整理は】

各種調査や測量等を実施した上高木地区の区画整理事業は地区説明会も実施したが、財政問題や同意率の問題、保留地完売の見通しが困難等の理由で平成12年に事業が凍結されたが、これからの区画整理について、市長の考えを問う。

【現状は一時凍結】

答 上高木地区の区画整理は、平成11年3月に面積約30ヘクタール、事業費約41億円、減歩率約40・78%、保留地の単価17万8千円で計画したが、同意率の問題と地価下落により保留地販売の問題で一時凍結をしながら、状況を見て判断することとしたものである。

【凍結解除と代替の開発は】

人口増、企業進出、雇用拡大のためにも、凍結解除はできないか。高木地区の発展なくして、本宮市の発展はないと思う。凍結解除が難しい場合に、区画整理に代わる開発計画をいかに考えるか。

【凍結解除は総合的に判断したい】

凍結解除は社会情勢等々の状況を見極めて総合的に判断したい。事業凍結時の説明会で、地域内の道水路の改良要望があり、市道原・高木線改良や水害対策として雨水幹線整備に着手し、資材支給による農業水路の整備も検討している。



管理の徹底を（旧輪ヶ淵橋）



Q 旧輪ヶ淵橋の通行可は

A 車両通行は不可であるが管理を徹底する

伊藤隆一
議員

【旧輪ヶ淵橋の通行可は】

岩根地区と郡山市を結ぶ旧輪ヶ淵橋は車両通行止めになっているが、橋上が遊び場になり、ゴミが散乱したままである。また、ゴミの不法投棄場所にもなっているため、車を通行させることにより、状況の改善がはかれるのでは。

【車両通行は不可であるが管理を徹底する】

旧輪ヶ淵橋の管理者である郡山市に確認した結果、築造後72年が経過した老朽橋であり、車両通行は考えていないとの回答であるが、非常に景観のよい場所であるので、周辺の木の伐採や不法投棄のゴミ等々の散乱防止を図るべく管理を徹底すべきと考える。

【神座運動広場西側市道の整備はいかに】

みずきが丘団地の人口増加による車両増に伴い、車両の行き来に支障が生じている。一部歩道未設置であり、県道（会津街道）と変則交差点になっっているため、県とも協議し、早急な拡幅整備が必要と思うが。

【整備に向けて努力したい】

みずきが丘の人口は約千人近くとなり、住民の方々の重要な道路と認識しており、歩道の整備に向けて鋭意、努力していきたい。また、県道熱海線との交差点の改良については県に要望しているが、今後も強く要望したい。



上高木地区の開発は

【児童等の安全対策を問う】
 園みずい公園の安全対策については万全を期していると思うが、公園内の水質管理（細菌検査水の入れ替え等）、清掃状況（ゴミ、水アカによる転倒）は、公園内の遊具類の安全点検について、どのように対処しているのか。



Q

児童等の安全対策を問う
 A 定期的な点検・清掃を実施

長作 円谷 議員

【定期的な点検・清掃を実施】
 水道水を使用し、循環する場合は砂での濾過と塩素滅菌処理をしている。利用者の多い4月から10月の間は毎日2回残留塩素測定と清掃を行い、冬期間は週2回の清掃となっている。
 遊具等の安全点検は月に2〜3回、目視、打診、

触診等で実施している。
 【通学路の安全対策は】
 不審者対策や交通安全対策を行政・学校・PTA・保護者等が一体となり、地域社会の中で危険箇所を予測・予知し、対応できるシステム作りが必要ではないか。
 五百川小通学路の4号線地下歩道の底の改修は、【安全対策に万全を期

す】
 各小学校でPTAや地域の方々の協力により通学路の安全点検・調査を行い、通学路の安全マップを作成し、児童生徒の安全対策を図っている。今後も安全点検に万全を期し事故防止を図りたい。
 地下歩道については、関係課から国土交通省へ改善要望していきたい。



定期的に点検・清掃しています



通学路の安全確保を

【歳出削減の取り組み状況は】
 市では、透明性、公共性の確保、地域経済の活性化及び経費削減を促進するため、工事入札制度を見直したというが、入札において最低制限価格を設定することは、経費削減の促進にならないのではないか。

【入札制度改革も実施】
 発注の透明性、公平性の確保、地域経済の活性化の観点から入札制度改革を行った。
 最低制限価格は安全・安心な成果品を求める観点から、品質を確保しなければならぬ工事について内部の検討委員会において審査決定しながら設定している。

【通学の安全確保は十分か】
 通学路の危険箇所等の改善があまり見受けられないが、教育委員会で充分に把握しているのか。
 対処すべき関係部局との庁内連携は図られているのか。
 【連携を図り安全確保に努める】

【子供安全対策会議を開催し各小中学校でも通学路の安全点検を行い、児童生徒の安全確保を考慮しながら、道路関係部課と連携を図っている。歩道の設置、水路のふた掛等の要望は、産業建設部でも把握しており、緊急性のある道路を優先し実施したい。



Q

歳出削減の取り組み状況は
 A 入札制度改革も実施

渡辺 秀雄 議員



市民に喜ばれる施設を（旧本宮診療所）



Q 県道二本松・三春線整備はいかに

A 早期改良に込めるため強く要望する

根本七太 議員

【県道二本松・三春線整備はいかに】
和田字山ノ内地内の未整備区間0.7キロが完成すると全線開通路線となる。
地元住民の生活道路に加え、大切な通勤通学道路でもあり、早急な完成を願うものであるが、安心と安全から現況の取り組み状況は。

【早期改良に込めるため強く要望する】
質問の県道は非常に屈曲し、狭隘で大変危険な状況と認識している。本年5月に関係者同行のもと県に要望活動を行った。
本年度の予算計上は無理であったが、地元の方々の安全安心のため、来年度以降の早い機会に予算計上されるよう、強

く要望していく。
【白沢地域畜産振興は】
畜産農家に対する合併前と後での行政対応が異なり、政治不信が起きている。白沢地区の主要産業の養蚕から脱却し、荒廃した桑園活用の一環として汗している畜産農家の心情を察すると心が痛むが、行政の考えは。

【現行制度で推移を見守る】
畜産振興のための助成制度は合併協議の際に大きな議論になり、従来の補助金制度から預託しての融資制度への移行については、確認して問題ないとのことで、皆の合意で進めてきた経過がある。
当面は、現行の預託制度で推移を見ていきたい。



早期改良が望まれます



Q 本宮市の財政はいかに

A 大変厳しいが真摯に取り組む

栄 藤次 議員

【本宮市の財政はいかに】
本宮市の借入金金の総額とその認識は。県土地開発公社を含む返済計画は。貸借対照表を導出した情報開示しては。特別職の給与引き下げや公用車についての考えは。市職員への賞与の説明責任は。財政再建に対する市当局の考えは。

【大変厳しいが真摯に取り組む】
利子を含む借入残金が410億円であり大変厳しい。貸借対照表は財政健全化法の目標年次までに作成できるよう取り組む。今の基準の中でそれ以上に働くことで市政発展に努力したい。公用車は買い換えず現在の車を継続し経費削減を図る。職員賞与は他市と比較し

平均年齢が非常に高いためである。
【県立病院跡地利用は】
官から民へという考えのもとに民間を含めた跡地利用はできないものか。維持管理費を含めた人件費はどのように見込んでいるのか。費用対効果は。県との交渉は誠意を持って再度協議はできないか。
【課題克服し計画どおり

に推進したい】
複合施設は本宮診療所廃止の代替措置として、県からの交付金により、この機能を担う施設を建設するものである。市の保健施設であり、高齢、健康づくり担当職員が配置になるが、市民が喜ぶ施設とするためには若干の経費増はやむを得ないと認識し、この事業を推進したい。

【教育施設の環境整備は】
問 岩根地区の児童数の増加に伴う各教育施設の環境整備は。
答 (1)岩根小学校の今後の対応は。
 (2)岩根幼稚園の定員がオーバーした場合の対応は。
 (3)放課後児童クラブが公民館に移動したが、今後の対策は。



Q

教育施設の環境整備は

A 人口の推移を見守り総合的に検討

之義員
 分議 國

【人口の推移を見守り総合的に検討】
答 (1)増改築については、議会との協議の中でどのような学級増をすべきか検討していきたい。
 (2)定員の35名を超えた場合は、保育士2名の配置で当面対応したい。
 (3)手狭になった場合は公民館の別室の利用も協議していきたい。

【教育施設の耐震診断を問う】
問 各小中学校の校舎や体育館の耐震診断を行ったのか。
答 耐震補強工事が必要になった時、早急に工事に取りかかれるのか。
答 【安全な教育環境整備に努める】
 昭和56年以前に建築され耐震診断が必要とな

る校舎や体育館のうち、白沢中学校と本宮小学校で診断を行った。残る施設の優先度調査を今年度を実施し、耐震化推進計画を策定したい。補強工事については、子供たちの安全・安心のため財源確保を図っていきたい。



公民館に移転した岩根放課後児童クラブ



計画的な維持修繕を

【公務災害の再発防止策はいかに】
問 前回の6月議会冒頭の市長諸報告での「このたびの災害に対してお詫びの言葉とともに、この様な不幸な出来事を絶対に発生させないよう十分に注意をいたします」の言葉は、再発防止策をしっかりとやるかの決意と受け止めてよいか。

Q

公務災害の再発防止策はいかに

A 心の健康づくりに関する取組を策定

勝正員
 川名 議

【心の健康づくりに関する取組を策定】
答 再発防止策として特に心の健康に不調を来している職員の早期発見に努め、ストレス簡易調査や申し出のあった職員に対する面談、管理監督者に対する医師や臨床心理士の研修を実施している。今後は心の健康づくりに関する基本的な取り組みを策定していきたい。

【本宮市全体の施設管理は】
問 現在修繕工事中の本宮小第一校舎は、雨どい、手すりのサビは、子供たちの情操教育に悪影響を与えると考える。他の本宮市の施設にも本宮小のような状態が見受けられる。どのような考え方で対策をしていくのか。

【効果的な維持修繕を進める】
答 計画的な維持保全を行うため公共建築物維持管理マニュアルを策定し、施設所管課からの定期的な報告により、効果的な維持修繕を進め、機能や性能を良好な状況に保つことにより、公衆安全や利便、親しみやすさ、公務能力向上につなげていきたい。



新たな支所の早期建設を

【白沢総合支所建設の見通しは】
 旧白沢住民の行政の要でもある支所は、和木沢村当時の役場を改造した古い木造庁舎であり、耐震強度も無いに等しいものである。
 合併以前に庁舎建設基金2億8千万円を積立て準備していたが、今後の見通しは。

【年内に候補地を決定したい】
 総合支所は昭和25年に木造で建築され老朽化が進んでいる。
 現在、住民の利便性を考慮し、数カ所の市有地を候補地として建設場所の選定を進めており、年内に候補地を決定し、新年度の当初予算には建設設計費等の計上を予定している。

【本宮工業団地特別会計の借金返済はいかに】
 合併協議の中でも特別会計の膨大な借金は旧本宮の特別会計の基で返済するとの説明であった。県との交渉の中で、どのような状況になっているのか。その内容について伺う。

【力強く国・県と話し合い訴えていく】
 9月を目前に返済計画の試案を作った経緯があるが、国の法律が新たに施行されたため、県とは国の指針を見た上で決めることとしている。
 今後は、市民サービスを低下させないことを原則として、県と交渉をしていきたい。



Q 白沢総合支所建設の見通しは
A 年内に候補地を決定したい

根本 善裕 議員



Q 子育て支援の充実は
A 不安・悩み等の解消に努めたい

川名 順子 議員

【子育て支援の充実は】
 ① こんには赤ちゃん事業について
 ② 育児支援家庭訪問事業について
 ③ 産褥期ヘルパー派遣制度の導入
 ④ 一時預かり保育を増員すべき
 【不安・悩み等の解消に努めたい】
 ① 生後4ヶ月までに訪問し、子育て支援の情

報提供、不安解消等を図っている。
 ② 計画的に実施し、解消に努めたい。
 ③ 今後、実施自治体等を研究し、対応に努めていきたい。
 ④ 住民からの要望が多くなっているため、今後十分検討したい。
 【図書行政を問う】
 ① 10月より夢図書館と本宮図書室のシステムが

統合される。
 ① 行政組織機構に位置づけ図書館を単独で配置。
 ② 学校図書館と図書館をネットワークでつなぎ司書の派遣。
 ③ 一人あたりの図書費(93・7円)を県平均(174・2円)まで引き上げるべきでは。
 ④ 子供読書推進計画の策定状況は。
 【図書の充実を図りたい】

① 将来については、市の組織の中で長部局にも要請、検討させていた
 ② 多くの自治体や教育現場で実施されており将来は必要になると考える。
 ③ 財政状況を考慮しながらも、住民ニーズに即した整備、充実を図りたい。
 ④ 旧本宮町の計画をもとにし、本年度内に策定すべく準備中である。



子育て支援を望みます

【農業所得向上で商工業へ活力を】
 問 私たちにとって食は、「生活の基本である事」「安心、安全なものである事」の点から、農家所得向上、更に地産地消を考え、給食センターへの地元野菜等の供給方法及び生産体制をどのように行う考えか。



Q 農業所得向上で商工業へ活力を

A 複合経営で収入の確保を

一省員
後藤 議

【複合経営で収入の確保を】

答 計画性の必要な事業である。その地域で採れる農作物に合わせた給食メニューを作り、産地の供給体制を見ながら安主、安心の農作物を供給したい。また、米、野菜、畜産といった複合経営で収入の確保を真剣に考える時期に来ていると認識する。

【本市の農家担い手の取り組みは】

問 先日、二〇〇八年度より、総務省、文部科学省、農水省が小学生に農家等に宿泊体験をしてもらう「子ども農山漁村交流プロジェクト」を行うとの発表がなされたが、本市の取組みについて伺う。

【体験学習で後継者育成に寄与】

答 小学生から農業に対する体験学習、体験農業を経験し、農業の大切さを自覚させ、担い手となる後継者の育成にも大きく寄与する総合学習は重要である。本市においても一部の学校で実施している。



農業の大切さを学びました



朝夕は特に渋滞します



Q 朝の交通ラッシュの緩和を問う

A 歩道整備で交通ラッシュの緩和を

勤本
山本 議員

【朝の交通ラッシュの緩和を問う】

問 本宮駅周辺の朝の通勤、通学時の交通ラッシュは相変わらず大変な状況である。この混雑を少しでも緩和するには、東西自由通路と駅西口広場の開設が必要と思う。市民も交通の利便を高めるためにも、これらの設置を望んでいるが。

【歩道整備で交通ラッシュの緩和を】

答 まちづくり交付金事業で本年度よりサンライズもとみやから九縄地内までの市道2路線の歩道整備を行い、バリアフリー化による歩行者の安全確保と通勤、通学の交通ラッシュの緩和を図る。その後、2カ所の踏切の改良を計画している。

【必要最小限の自由通路は】

問 市の財政状況の厳しさは十分承知し、財政再建も大事だと思うが、それよりも市民の安全・安心が優先ではないか。せめて、人と自転車が往来できる必要最小限の自由通路を早急に設置する考えは。

【自由通路整備は時間が欲しい】

答 本宮駅の東西自由通路等の整備は、新市の基本構想の中に位置づけられており重要性は認識している。JRとの協議で自由通路や青田村道踏切改良を先行すると大縄掘街道踏切が閉鎖になるため、整備の順番は、大縄掘街道踏切、青田村道踏切、東西自由通路となり、早急な設置は難しい。

請願審査・意見書提出

9月定例会で審査した請願1件の審査結果をお知らせします。

JAみちのく安達「白沢支店」新設に伴う本宮市産業センターの一部借用に関する請願書	査 審 続 継
--	---------

請願者

みちのく安達

農業協同組合

代表理事組合長

菊地 正一

産業センターは、白沢総合支所移転候補地の一つであり、支所移転先決定が最優先であるため、継続審査となりました。

議員発議として、次の意見書2件を可決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に提出しました。

地方公共団体の財政健全化に関する意見書

本年6月に成立した

地方公共団体の財政健全化に関する法律では、

健全性評価のため新たな指標が追加されます

が、厳しい指標が設定

されることになれば住

民の不安をあまり、地

域再生の芽を摘むこと

も危惧されますが、本

市のように健全化に向

けて努力している自治

体もあることから、画

一的な適用はせず、柔

軟な対応を求めました。



9月定例会を傍聴された方は102人でした。今回は、その中から根本晃さん（和田字除石）に傍聴の感想をお聞きしました。



根本 晃さん

一礼の上、議場に入り、指名され堂々と意見を述べられる議員さんの姿を見ながら、この傍聴席は議場を見下ろす位置にあっても、絶対に入ることはできない場所、確かに選ばれし人たちの席であり、誇りと気概が感じられました。

更にこの傍聴席が空席の時と満席の場合、議員の皆さんの実効ある日常生活にも大きな差が出るだろう等と考えるながら、行政や議員に望むばかりではなく、選んだ者の責任として足を運ぶ、傍聴席から目と耳で細かな市政への参加をなど考えながら、有意義な一日でした。

あとがき

本宮市合併後初の市議会議員選挙が行われ、定数24名（新人9名）の新たな議会がスタートした。合併で望まれていることは、旧本宮町・旧白沢村らしさを残した上で地域格差をなくすという事だろう。

本市は債務返済のため、非常に厳しい財政運営を強いられている中、いかに住民サービスの向上に努められるかが最大の課題である。

議会だよりは、市民と議会をつなぐパイプ役として公正公平でわかりやすい誌面づくりを目指します。

(じ)

議会を傍聴してみませんか。

12月定例会は12月上旬開会予定です

議会事務局

TEL 33-1111-1

(内線3001)

